

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、《香川県専修学校各種学校連合会》が実施した令和6年度「専修学校の国際化推進事業」の成果物です。

令和6年度

番号

## 令和6年度「専修学校の国際化推進事業」実績報告書

## 1 委託事業の内容

外国人留学生の戦略的受入れ、円滑な就職及び定着に向けた体制整備

## 2 事業名

香川県における専門学校留学生の学び・定着に向けた支援推進事業

## 3 代表機関

## ■代表機関(受託法人)等

法人名	一般社団法人 香川県専修学校各種学校連合会
代表者名	大平 康喜
学校名	
所在地	香川県高松市番町二丁目4-14

## ■事業責任者(事業全体の統括責任者)

職名	会長
氏名	大平 康喜
電話番号	082-822-3001
E-mail	kagawa- senkaku@anabuki.ac.jp

## ■事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

職名	事務局長
氏名	山田 守
電話番号	087-823-2266
E-mail	mamoru-yamada@anabuki.ac.jp

#### 4 構成機関・構成員等 (機関として本事業に参画する学校・企業・団体等)

##### (1) 教育機関

	名称	役割等	都道府県名
1	専門学校穴吹コンピュータカレッジ	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
2	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
3	専門学校穴吹工科カレッジ	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
4	専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
5	四国医療福祉専門学校	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
6	吉田愛服飾専門学校	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
7	四国総合ビジネス専門学校	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
8	キッス調理技術専門学校	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
9	四国学院大学専門学校	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
10	さぬき福祉専門学校	留学生の受入・ 教育・就職サポート	香川県
11	ハイフォン市立医療短期大学	留学説明会協力 インターンシップ協力	ベトナム
12	ハイフォン市立工業短期大学	留学説明会協力 インターンシップ協力	ベトナム
13	バックゲ短期大学	留学説明会協力 インターンシップ協力	ベトナム
14	インドネシア観光短期大学	留学説明会協力 インターンシップ協力	インドネシア

※「役割等」においては、同一の役割を複数の機関で分担する場合、主担当となる機関の同欄に「◎」を記載すること(以下同じ)

##### (2) 企業・団体

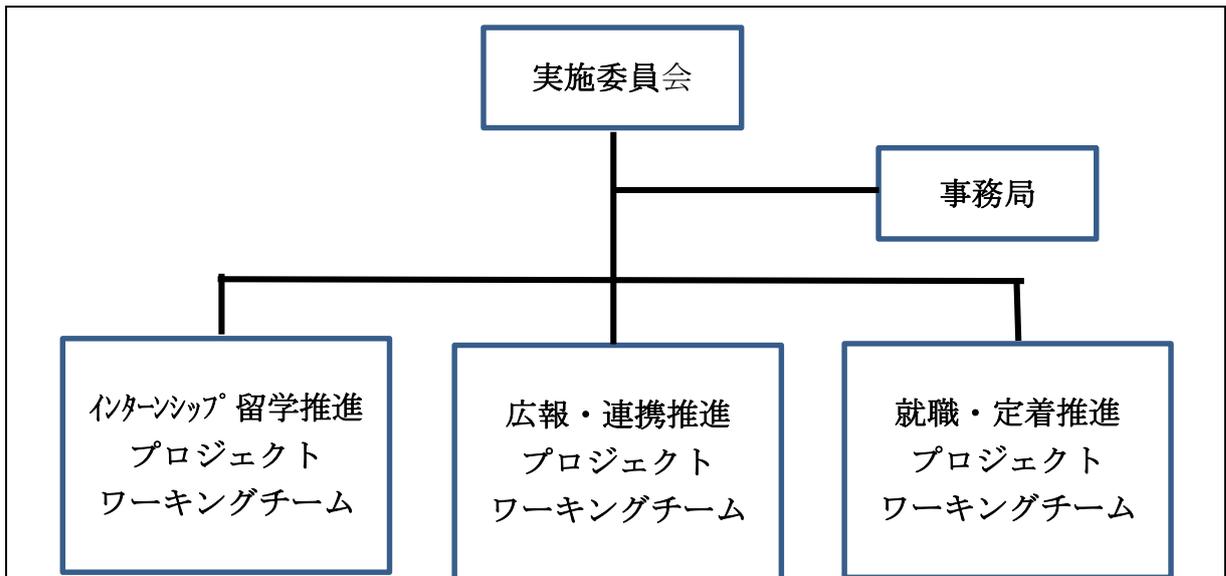
	名称	役割等	都道府県名
1	株式会社百十四銀行	留学生の就職・ インターンシップ促進 協力	香川県

2	高松商工会議所	留学生の就職・ インターンシップ促進 協力	香川県
3	一般社団法人香川経済同友会	留学生の就職・ インターンシップ促進 協力	香川県
4	香川県行政書士会	留学生の就職促進 協力	香川県

### (3) 行政機関・その他

	名称	役割等	都道府県名
1	香川県 総務部知事公室国際課	留学生の受入促進	香川県
2	香川県 商工労働部労働政策課	留学生の受入促進	香川県
3	高松市 創造都市推進局観光交流課 都市交流室	留学生の受入促進	香川県
4	高松市 創造都市推進局産業経済部 産業振興課	留学生の受入促進	香川県
5	独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)香川事務所	海外教育機関の 開拓協力	香川県
6	独立行政法人国際協力機構 JICA 四国	海外教育機関の 開拓協力	香川県
7	西ジャワ州教育局 ボゴール県支部	留学説明会協力 インターンシップ促進 協力	インドネシア

### (4) 事業の実施体制



○実施委員会

本事業の方針及び戦略決定、予算執行管理等を担当する。

○インターンシップ留学プロジェクトワーキングチーム

海外インターンシップから留学受入れまでのプログラムと日本語教育支援を担当する

○広報・連携推進プロジェクト

各ターゲットエリアにおける日本の職業教育の普及、香川県の魅力 PR、現地でのイベント開催についての調整を担当する。また、連携機関との国内外の調整を担当する。

○雇用・定着推進プロジェクト

受け入れ態勢構築セミナーの企画、インターンシップから就労に繋げる仕組みの開発、香川県内雇用行政機関、経済界、および香川県行政書士会との連携を担当する。

○事務局

事務管理、進捗管理及び連絡調整を担当する。

(5)各機関の役割・実際に得られた協力事項について

### ○教育機関

- ・在外教育機関での留学・インターンシップ説明会の実施に伴う協力
- ・香川県内の専門学校に在籍している留学生のインターンシップ実施に伴う協力
- ・企業向け外国人材採用セミナーの実施に伴う協力
- ・日本語教材の実証に伴う協力
- ・PRビデオ制作に伴う協力

### ○企業・団体

香川県内企業に対する留学生のインターンシップや就職先としての受入れ促進。

### ○行政機関・その他

海外教育機関開拓のためのサポート

在外教育機関での説明会実施に伴う協力

## 5 事業の内容等

### (1) 事業の趣旨・目的等について

香川県の在留外国人は総数、留学生数ともに四国4県にあつては最も多く、これは、人口流出県である香川県にあつて外国人生活人口の増加は喜ばしいことであり、同時に県内の人口減少による労働力不足を外国人に求めざるを得ないことを現実問題として、将来を見据えた専門学校がこの解消策に取り組んできた結果といえる。

コロナ禍により海外との往来が停止していた2021年度に開始した「専修学校留学生の学びの支援推進事業」では、オンラインでの教育交流等を経て、海外教育機関との強固な関係を築くことができ、その後、2022年4月よりそれらの事業により母国で学習を終えた留学生たちが次々と入国した。円安等の不安材料がある中でも日本へ、香川への留学への関心は高く、また地元経済の理解・支援は広がっており、「香川で学び、香川で就労する」という地方の専門教育の目的は留学生の学びの支援においても定着を始めている。来日前教育面での連携、来日後は日本の職業教育価値を踏まえた上で、香川県で学んだ外国人留学生が就労ビザを取得し、定着できることを目的とする。一貫した戦略的な受入れ体制を整備し、地方都市香川における若年人材不足の解消と健全な事業継承に寄与する。

### (2) 当該地域において取組を進める意義

#### i) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国(地域)

ベトナム	インドネシア	フィリピン	スリランカ
------	--------	-------	-------

## ii) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット分野

介護福祉分野	自動車整備分野	ホテル・観光分野	電気工事士分野
--------	---------	----------	---------

### 【ターゲット国(地域)・分野と本県連合会との関わり】

#### ■ベトナム(継続)

＜背景＞香川県がベトナムハイフォン市と環境土木・保健医療分野で協同プロジェクト事業実施。この関係から本事業の開始当初(H29年度)より教育分野における連携を本事業にてすすめてきた。

#### ＜昨年までの事業実績＞【提携6校】

引き続き、留学生受け入れの拡大を目指す。また、ベトナムと教育的にも関係の深いインドシナ諸国(カンボジア・ラオス等)も引き続き関係構築を継続する。

#### ■インドネシア(継続)

#### ＜昨年までの事業実績＞【提携71校】

2022年度は24名、2023年度は24名がインドネシアから香川留学生として入国した。前年度までの事業にて介護奨学金留学生として入国した学生達の内6名が、香川県で日本語と介護の学習を終え、介護福祉士として香川県の介護事業所に勤務している。福祉・自動車分野を中心に引き続き、留学生受入拡大のための取り組みを進める。

#### ■スリランカ(新規)

香川県の教育機関は在スリランカ日本大使館やスリランカ日本語教育協会と連携しながらスリランカの教育機関との関係を構築してきた。日本への留学希望者は近年増加傾向にあり、自動車整備の分野の人気の高いため、今後、スリランカの技術系の教育機関と提携を結び、留学希望者の拡大を狙っていく。

#### ■フィリピン(新規)

国を挙げて介護人材を育成しており、英語も堪能なため、世界中でフィリピン人介護人材が活躍している。介護奨学金プログラムを利用して香川県の教育機関に留学したフィリピン人留学生は30名を超え、多くの卒業生達が香川県内の介護事業所で活躍している。介護福祉分野や英語が必要とされるホテル・観光分野での留学生受入が期待できる。

## (3) 実施する取組の具体的内容

### ① 入学前

#### 海外からの留学生受け入れのための海外インターンシップ制度の構築

目的:

日本で学び、働くことを望む海外の若者や、外国人の採用を望む企業は多いが、学生にとって留学は金銭面での負担が重く、企業にとっても外国人採用のための受け入れ態勢整備の負担は重い。双方の負担を軽減するために、「留学・就労ビザでの就職」の前段階でインターンシップを導入する。来日前に日本語の教育支援を行い、スムーズなインターンシップに繋げる。学生には日本を好きになってもらい、日本の高い技術の習得の意欲を引き出した上で留学に繋げ、企業には受け入れ態勢の整備を促す。受け入れ企業と連携し、優秀なインターンシップ生に対する奨学金プログラムを設立する。

事業予定:

- ①海外教育機関と「インターンシップからの留学」を見据えた提携の締結。
- ②学生向け説明会、受け入れ企業向け説明会の実施。
- ③インターンシップ生向けの来日前の日本語教育支援。
- ④海外教育機関関係者を香川県へ招聘し、インターンシップ環境と日本の教育環境を案内する。
- ⑤インターンシップの実施。インターンシップ中は香川県の教育機関での体験授業も実施する。
- ⑥インターンシップ修了者向け留学説明会の実施。

成果指標: 1年目 (R6年度):

海外教育機関との提携。企業・学生向け説明会の実施。海外教育機関関係者の香川県への招聘。日本語教育支援プログラム開発。

2年目 (R7年度): インターンシップ生10名の受け入れ。

3年目 (R8年度): インターンシップ生20名の受け入れ。

留学生3名の受け入れ (R7年度のインターンシップ修了生から)

4年目 (R9年度): インターンシップ生30名の受け入れ。

留学生6名の受け入れ (R8年度のインターンシップ修了生から)

## 令和6年度実績

タイの国立コンケン大学(タイ)から5名の学生が2025年2月に来日し、穴吹エンタープライズ株式会社が運営する香川県内のホテルにてインターンシップを開始した。2025年3月にはダナン外国語大学(ベトナム)から3名の学生が来日し、同ホテルでインターンシップを開始することになっている。

### ② 就職・定着支援:

#### 香川県への留学生の県内就職・定着のためのインターンシップ制度の構築

## 目 的:

前年度までの「文部科学省専修学校留学生の学びの支援推進事業」の取り組みで、本連合加盟校の留学生の就労ビザの取得率は100%を達成した(日本で就労が可能な分野に限る)。しかしながら、香川県内企業への就職率と定着率の低さが課題として残っている。県内就職率の低さの原因は大都市への流出。定着率の低さはミスマッチや双方の理解不足、そして留学生の日本語力不足から起きる仕事に対する不安等があげられる。インターンシップを導入することで留学生には香川県内企業のことを知ってもらい、働きやすさを感じてもらうことで香川県内就職を促進する。ミスマッチを防ぎ、更に日本語教育支援を行うことで業務に対する不安を解消し、定着率を上昇させることを目的とする。

## 事業予定:

- ①留学生の定着率や、新規採用・インターンシップ受入れに関する企業意識調査の実施。
- ②学生向け説明会、受け入れ企業向け説明会、日本式就職活動セミナーの実施。
- ③日本語教育支援プログラムの開発。
- ④インターンシップ後、企業、学生双方に対するアンケートを実施。

## 成果指標:

1年目(R6年度):インターンシップ受入数目標:10名(未内定者のみ)、日本語教育支援プログラム開発

2年目(R7年度):インターンシップ受入数目標:50名、R6年度就職者定着率95%

3年目(R8年度):インターンシップ受入数目標:60名、R6年度就職者定着率90%、R7年度就職者定着率95%

4年目(R9年度):インターンシップ受入数目標:70名、R6年度就職者定着率85%、R7年度就職者定着率90%、R8年度就職者定着率95%

## 令和6年度実績

### ①企業向けセミナーの実施

外国人留学生の採用を促進するための企業向けセミナーを実施した。

セミナー名:外国人留学生就労支援セミナー2024

日 時:2024年11月18日 13:30~15:40

場 所:サンポートホール5階 第2小ホール(香川県高松市サンポート2-1)

内 容:13:30~ 開会、主催者、共催者挨拶

13:45~ 講演「外国人材の受け入れ・定着のために何が必要か」

講師:多田 盛弘(ただ もりひろ)様

PERSOL Global Workforce 株式会社 代表取締役社長

15:15~ 質疑応答タイム

15:40~ 香川県行政書士会 無料相談会

参 加 者:45企業・団体・学校 65名が参加)

## ②日本語学習支援教材の開発、実証

日本国内インターンシップ生向けの日本語学習教材を開発し、実習中の留学生を対象にして実証を行った。

概要: JLPT の N2 取得を目指した学習支援プログラム  
1回18問、全30回、レベル・内容は N2 に準ずる  
実証は実習中の留学生16人を対象に、15日間で行った。

## ③就職前の留学生に対するインターンシップ

香川県内の専門学校に在籍している卒業年次の留学生1名に対して、香川県内の企業にて就職を前提としたインターンシップを実施した。インターンシップ後に2025年4月からの正式採用が決定した。

## ③ 入学前:

### ターゲット分野の留学希望者を増やすための教育交流・PRビデオの制作

目的:

教育環境や就労環境、職業倫理等は国によって大きく異なり、日本に対して誤った認識を持っている留学生達も多い。例えば、介護保険制度が導入されていない国では「介護」という認識自体がほとんど無く、そういった国では「介護」と聞くと日本の介護とは全く違ったイメージを抱く。また、これまでの事業で交流機会を持った教育機関の中には、実務経験が皆無な教員が職業高校で教鞭を取っているようなケースがあった。海外の学生達がこういった環境の中で日本の職業教育や就労について正しく理解することは難しい。これらの点を解決するために、実務経験豊富な日本の教育機関の教員を海外に派遣し、体験授業や職業理解のための説明会を実施する。また、日本での実際の就業の様子や、それに至るまでの学びを紹介する PR ビデオを制作し、日本への留学・就労希望者の拡大を狙う。

事業予定:

- ①教育連携校内での体験授業・職業説明会の実施(取組④と連携)
- ②日本の学び・職業 PR ビデオの制作
- ③香川県に招聘し、実際の就労環境や学校の教育環境を案内する。(取組①と連動)

成果指標:

- R6年度 提携校内で体験授業・職業説明会の実施(2校)、PRビデオの制作(電気工事士)
- R7年度 提携校内で体験授業・職業説明会の実施(3校)、PRビデオの制作(ホテル・観光分野)
- R8年度 提携校内で体験授業・職業説明会の実施(4校)、PRビデオの制作(自動車整備士)
- R9年度 提携校内で体験授業・職業説明会の実施(5校)、PRビデオの制作(介護福祉)

士)

## 令和6年度実績

### ①PRビデオの制作

自動車整備士のPRビデオを制作した。当初の予定ではR6年度は電気工事士のビデオを制作する予定だったが、コロナの時期に留学生の入国者数が激減し、それによって、その後の自動車整備学科の留学生卒業生数が激減したため、香川県内の自動車整備関連の企業が留学生の自動車整備士を採用することがかなり難しくなった。それを受けて、香川県内の自動車整備業界から留学生の採用を求める強い要望が出てきたため、R8年度に制作予定だった自動車整備士のPRビデオをR6年度に前倒した。電気工事士のPRビデオはR8年度に制作する予定。

内 容:香川県内の日本語学校と自動車整備の学校を卒業し、香川県内の自動車ディーラーに就職したネパール人元留学生ガウタム ブサンさんを通して、外国人の自動車整備士としてのキャリアの描き方や家族も含めた香川での暮らしを紹介する。留学生の卒業後の将来像を具体的に見せてあげることで、留学希望者の不安を解消し、自動車整備士分野での留学希望者拡大を狙う。

時 間:10分32秒

本 数:4本(日本語版、英語版、ベトナム語版、インドネシア語版)

公 開:日本語版 <https://youtu.be/OgdcG2LoSHE?si=m95fkVtMuMdoRBF1>

英語版 <https://youtu.be/Oj23-3IO9UM?si=EUBNz9nhX-6iwyI>

ベトナム語版 [https://youtu.be/KJgu\\_2KI\\_tk?si=TWTs-vmSFp7Xn7ot](https://youtu.be/KJgu_2KI_tk?si=TWTs-vmSFp7Xn7ot)

インドネシア語版 [https://youtu.be/CXJSdoJ7t5o?si=9fLguJqbhNRqm1\\_y](https://youtu.be/CXJSdoJ7t5o?si=9fLguJqbhNRqm1_y)

### ④ 入学前:香川県専修学校留学生支援事業の継続に向けた取り組み

目的:

これまでの留学生受入推進の事業を通じ、資産となった関係各国・地域との関係を維持・発展させる。新規ターゲット国では継続ターゲット国と同様に香川の行政機関、経済界と連携しながら留学生の受け入れ、教育、定着までを目指す。長期的な視点に立ち、人口減少社会を見据えて、継続的な取り組みができる体制づくりを目指す。

事業予定:

継続ターゲット国についてはこれまで取り組んできた事業の中で出てきた課題について引き続き取り組む。これまでの事業を踏まえ、現地の学生や教育機関には学生の経済状況や希望進路に合わせて、なるべく多様な「学び・就労」に関する情報提供を行えるようにする。新規ターゲット国では継続ターゲット国と同様に海外教育機関と密接な教育連携体制を構築し、香川留学希望者を増やしていく。

成果指標:

新規提携校(R6~R9年度):

ベトナム5校、インドネシア10校、フィリピン5校、スリランカ5校

新規提携校からの留学生受入目標数:

R6年度(R6秋、R7春) 0名

R7年度(R7秋、R8春) 5名

R8年度(R8秋、R9春) 10名

R9年度(R9秋、R10春) 15名

新規提携校での留学説明会参加者数:

R6年度 50名

R7年度 100名

R8年度 150名

R9年度 200名

## 令和6年度実績

### ①在外教育機関との提携、留学説明会の実施

新規提携校:17校(1日本語教育機関、16高校)

留学説明会:6か国19会場にて実施、動員数約1900名

2024年度日本留学説明会実施記録				
開催日	開催国	開催場所	学校種類	動員数
2024年10月29日	フィリピン	OHAYO JAPANESE TRAINING CENTER, INC.	日本語教育機関	40
2024年12月16日	スリランカ	National Youth Council Matara	専門学校	50
		先生日本語センター	日本語教育機関	100
2024年12月17日	スリランカ	SLTC RESEARCH UNIVERSITY	大学	20
		National Youth Council 本部	専門学校	50
2024年12月18日	インドネシア	スイスベルホテル（高校の校長先生向け留学説明会）	高校	16
2024年12月20日		SMK INFORMATIKA BINA GENERASI	高校	50
		SMK KESEHATAN PROF.DR.MOESTOPO	高校	40
2025年1月16日	ラオス	ラオス国立大学文学部日本語学科	大学	58
2025年1月17日		健康科学大学看護科学部	大学	48
2025年1月20日	ベトナム	ハノイ工科大学	大学	20
2025年2月7日	日本・スリランカ	オンライン（National Youth Council卒業生向け）	専門学校	50
2025年2月10日	ベトナム	Truong THPT Vinh Dinh 高校	高校	400
		クアンチ寄宿高校	高校	200
2025年2月11日		NgoQuyen HighSchool 高校	高校	400
		Le Quy Don HighSchool 高校	高校	300
		Hung Vuong 高校	高校	17
2025年2月12日		ベトナム林業人材センター	日本語教育機関	25
		ハイフォンバックグ短期大学	短期大学	20
				1904

## ②「香川県における専門学校留学生の戦略的受入・定着に向けた体制整備事業」

### 第一回実施委員会の開催

日時：2024年11月21日（水）11:00～

場所：サンポートホール高松 55会議室

内容：本連合会にて文部科学省事業令和6年度「専修学校の国際化推進事業」を受託したことを報告し、事業の目的、内容、今後の取組等について説明した。

## ③香川留学ポータルサイトの更新

香川留学ポータルサイト「香川留学支援ナビ (<https://www.kagawa-studyabroad.com/>)」を本事業の取り組みの紹介のために更新した。

更新箇所：①情報公開ページ (<https://www.kagawa-studyabroad.com/information>)

②留学のすすめページ (<https://www.kagawa-studyabroad.com/recommend/>)